

(様式第4号)

上田市認知症高齢者等支援ネットワーク協議会 会議概要

1 審議会名	上田市認知症高齢者等支援ネットワーク協議会
2 日時	令和8年8月3日 午前1時から午前2時30分まで
3 会場	市役所3階会議室
4 出席者	飯島会長、前田副会長、宇佐美委員、北沢委員、小池委員、佐藤 正委員、杉浦委員、杉本委員、龍野委員、田中委員、西澤委員、宮入委員、向井委員、横沢委員
5 市側出席者	長田福祉部長、西澤高齢者介護課長、片山高齢者支援担当係長、小林主任、佐々木主任、認知症地域支援推進員（石原作業療法士、中村看護師、召田保健師、駒津社会福祉士）
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和8年8月7日

協 議 事 項 等

1 開 会（高齢者支援担当係長）

2 あいさつ（長田部長）

3 協議事項

【認知症施策推進計画（案）について】

（事務局）

○P1~12 について、前回の協議を踏まえた修正箇所について説明

（事務局）

<修正箇所>

・P6 これまでに聴いたみなさんの声（一部）

「車の運転免許」について記載を追加、「当事者が身内には話しにくいことも第三者等には話せる傾向がある」について記載を追加、「認知症になっても地域で集まれる場所や話せる場所が増えて欲しい」という記載が二重になっていたため、一つ削除

・P7 4 上田市の認知症高齢者をとりまく状況 （1）（ア）認知症高齢者数の見通し

P7 の下のグラフで、2032 年度（2050）の認知症者数と高齢人口に占める認知症者数の数値が間違っていたため修正

・P22 3 取組事例

「上田市の認知症事業について QR コードを使い分かりやすく検索できるようにしてほしい」というご意見があったため、最終ページに ◇認知症ガイドブック・認知症予防ガイドブックの QR コードを記し、上田市のホームページにとべるようにした。

また、若年性認知症についての詳細についても、◇認知症ケアパスに記載があるので、QR コードから確認できるように掲載した

（委員）

・前回の修正点に加え、P6 に春原 治子さんの意見がいくつか記載されているが、文字が多く見ずらいため書き方を工夫してみてはどうか

・「こと」と「事」、「わたしらしく」と「そのひとらしく」など、文字の統一をしてほしい。また所々に誤字があるので再度確認したほうがよい。

（事務局）

・春原さんのご意見については、読みやすくなるよう修正いたします。また表現の統一や誤字について改めて確認します。

○P13~14 都市宣言 1 について説明

（委員）

- ・修正等のご意見なし

○P15~16 都市宣言 2 について説明

(委員)

- ・宣言 2 の説明文の 2 行目「認知症の人自身を正しく理解する社会の実現」となっているが、認知症基本法と合わせ「～理解する共生社会の実現」と“共生”を追加した方がよいと思う。

(事務局)

“共生”を追加します。

(委員)

- ・認知症について正しく理解するための講座として、医師から話しを聞く機会が少ない現状がある。今後事業を実施していくうえで、医師からの認知症に関する話しを聞く機会を多くもっていただきたい。

(事務局)

- ・今年度 9 月に実施する認知症講演会でも、医師から認知症の予防や備えについて講話いただく予定だが、今後も多くの機会を取り入れていきたい。

○P17~18 都市宣言 3 について説明

(委員)

- ・宣言 3 の説明文の 3 行目から 5 行目からの「認知症があっても～」の認知症の予防や備えについての文章がネガティブな印象を受けるため、言葉を変えた方がよいと思う。

- ・同じく「発症させない」という記載には違和感がある。認知症を自分ごととして考え、不安を取り除くことが備えになっていく。認知症になったときに自分ごととして考えられる文章がよいと思う。

(事務局)

- ・認知症予防教室「脳力アップ！ずくだせ教室」のチラシ内にある文章「認知症の発症や進行を遅らせ、認知症に対する不安を軽減し、認知症になったときの備えをする」という言葉を取り入れながら、文章を変更します。

(委員)

- ・認知症見守りネットワーク登録についての記載があるが、IT 機器も発達しており、認知症の方の行方不明時の検索に GPS 機器の保有や紛失防止タグも全国で推奨されているよう。GPS 等の記載も追加するのはどうか。

(事務局)

- ・市でも緊急通報装置設置事業や GPS 機器の初期費用補助をしているため、それら事業については「高齢者総合計画」の本編に掲載予定とします。

○P19 都市宣言 4 について説明

(委員)

- ・地域の認知症予防や備えについての取り組みとして、各地域で様々な活動が行われ、住民主体で積極的に実施している活動が多い印象。また民間でも多くの活動も行われているため、官民一緒に実施していくという点も計画に反映していくのはどうか。

(事務局)

- ・健康寿命の延伸について、介護予防、認知症予防については、本編に入れていく予定。また地域サロン事業においては、包括や地域担当職員にもご協力いただいている。少額だが補助金を活用いただき、高齢者の方が、歩いて行かれる範囲にサロンを立ち上げていただきたい、と思っている。民間でそのような動きがあれば支援していきたいので情報提供をお願いします。

4 その他

今後のスケジュールについて

5 閉会

